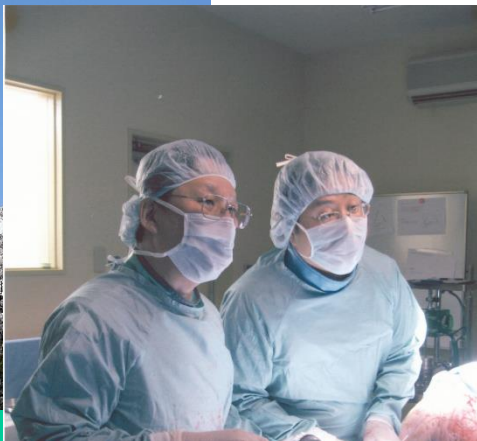


Kanazawa Vascular Access Intervention Live Demonstration Kanazawa-VALID 2015 症例集



主催：金沢バスキュラーアクセスインターベンション研究会

July 11, 2015

Case 1: 50歳代、男性---慢性糸球体腎炎から透析

Vascular access : 左前腕自己動静脈シャント、2007年導入

Operator: Dr. Horita

Symptom : 返血圧の上昇、左上肢の腫脹

Angio-guide VAIVT

Target Lesion : 左腕頭静脈のExpress stent+Zilver+SMART stentの再狭窄

History

2010年9月 左上肢腫脹にて左腕頭静脈圧迫狭窄と診断。Express stent(9x25mm)留置。

2010年10月25日 急性大動脈解離にて〇大学病院にて緊急手術、Bentall(大動脈弁置換および冠動脈形成)+人工血管置換術施行。

2010年12月20日 再度返血圧上昇にて紹介。左腕頭静脈のExpress stentの変形狭窄。さらにExpress stent(8x25mm)留置後、10mm-Ballooning。

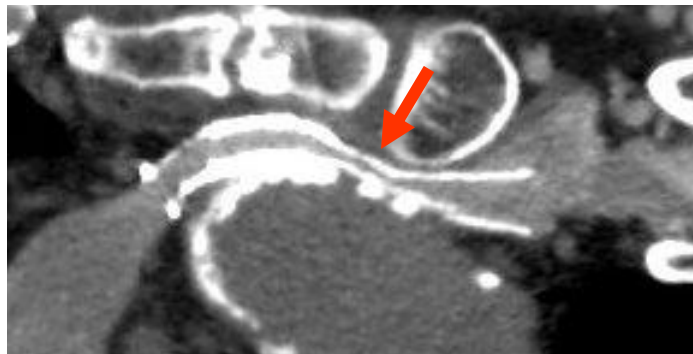
2012年5月 狭心症出現で、冠動脈形成術施行。その際のシャント血管MDCTにて左腕頭静脈stent部の再々狭窄を確認。K-VALID2012にて8mm-ballooning後Zilver stent(10x40mm)留置。

2013年6月 スtent内再狭窄でK-VALID2013で8mm-YOROI拡張後10x60mm-SMART留置。

2014年7月stent内再狭窄で7mm-balloon拡張(14気圧3回、各々180秒)。

2014年12月 stent内再狭窄で、8mm-balloonにて14気圧3回拡張。

2015年6月 閉塞性動脈硬化症にて紹介。右上肢腫脹認め、MDCTにてstent変形・再狭窄を確認。今回、再度VAIVT。FV=1050 ml/min.



Case 2: 60歳代、男性---糖尿病性腎症から透析

Vascular access : 左前腕AVF

Symptom : 脱血不良

Target Lesion : 吻合部近傍狭窄、橈骨動脈中枢側は閉塞

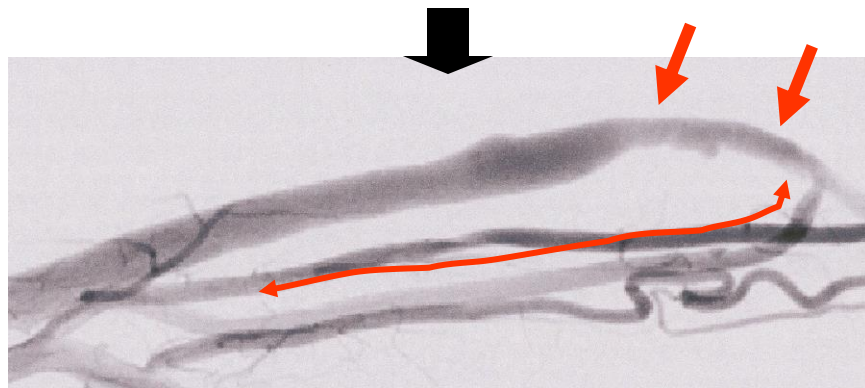
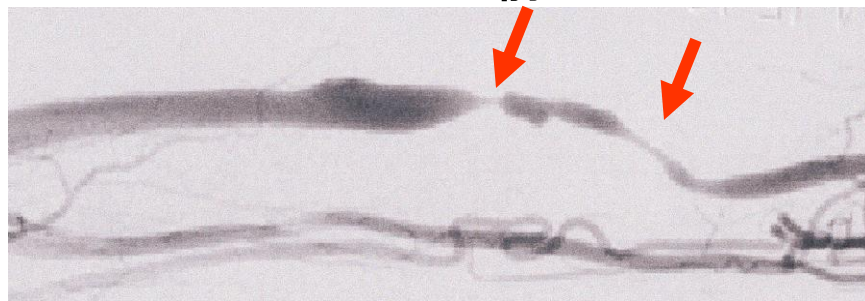
Operator: Dr. Kakuchi
Angio-guide VAIVT

History

2015年2月繰り返す吻合部近傍の再狭窄および橈骨動脈中枢側慢性完全閉塞に動脈および静脈アプローチにてPTA施行し再開通。静脈本幹は最終5mm-balloon、動脈は2mm-balloonにて拡張。

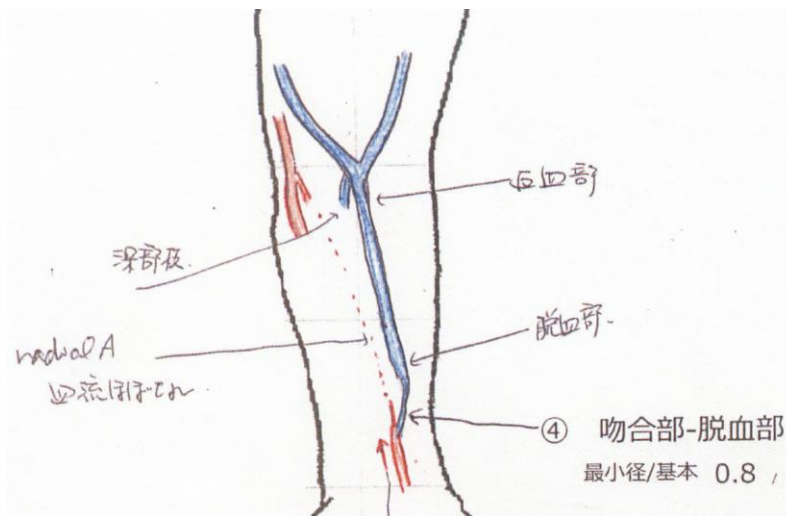
2015年6月18日シャント血管エコーにて橈骨動脈中枢側は再閉塞を認め、また吻合部近傍のシャント血管も再々狭窄を認めた。

Feb. 2015VAIVT前



VAIVT後

June 18. 2015



FV 106 ml/min. RI 0.80

Radial artery 2.7mm,

吻合部 2.0mm、狭窄部 0.8mm

Case 3: 50歳代、女性---慢性糸球体腎炎

Vascular access : 左前腕自己動静脈シャント

Symptom : Sore thumb syndrome

Target Lesion : 前腕シャント静脈の慢性完全閉塞再開通後の再狭窄

History :

Operator: Dr. Haruguchi
Echo-guide VAIVT

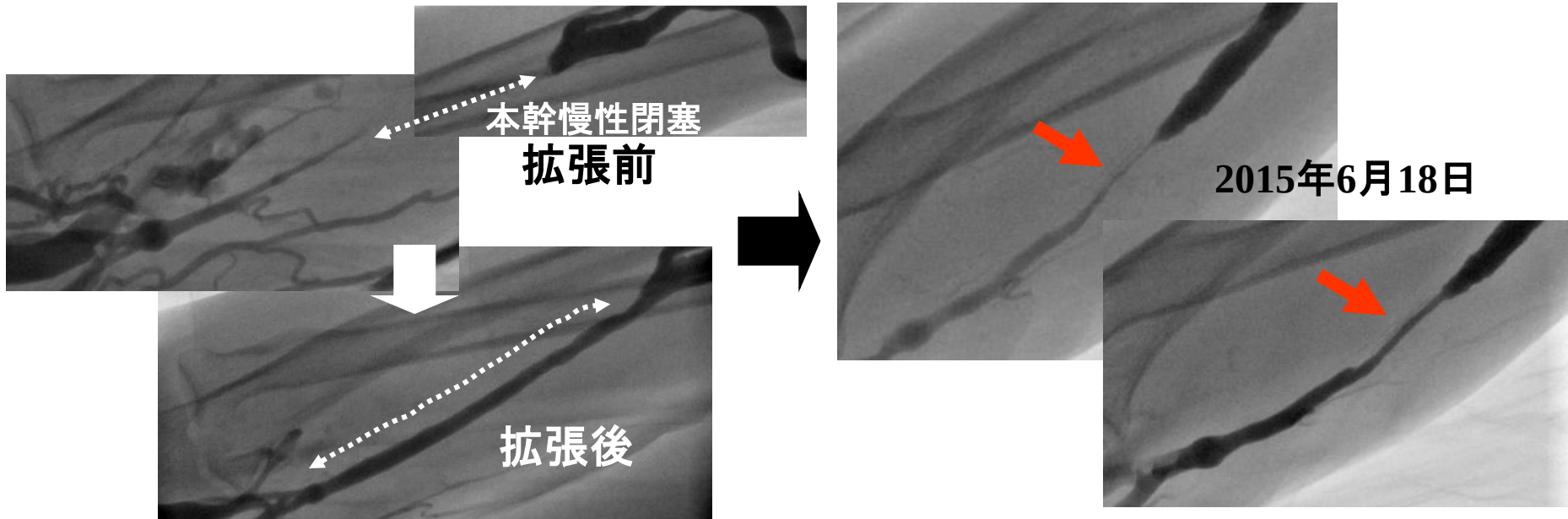
2011年透析導入。左橈骨動脈にてシャント作成。2014年前腕部橈側皮静脈閉塞となったが、側副血行路にて透析可能であった。

2014年12月頃から左手指の腫脹・発赤を認めた(Sore thumb syndrome)。

2015年4月28日当院に紹介。血管エコーにて前腕部橈側皮静脈の慢性完全閉塞で正中静脈近傍まで閉塞を認め、2015年5月1日慢性完全閉塞橈側皮静脈のVAIVTを行い、最終5mm-balloonにて拡張。左手指の腫脹・発赤の著明な改善を認めた。

2015年6月18日再狭窄で受診し、試供の2mm-POBAにて保険償還せずに拡張。

今回、再灌流部分の再狭窄病変に対するVAIVT予定となった。FV=457ml/min:2015.05.19



Case 4: 40歳代、男性---慢性糸球体腎炎

Vascular access : 右前腕自己動静脈シャント

Symptom : 返血圧の上昇

Target Lesion : 右前腕シャント静脈再狭窄および肘部分の尺側皮静脈再狭窄

Operator: Dr. Tsuboi
Angio-guide VAIVT

History :

2014年5月右橈側皮静脈は完全閉塞であり、肘部分の右尺側皮静脈慢性完全閉塞に
対して、Kanazawa-VALID 2014にて再疎通(平瀬Dr: 最終バルーン: YOROI 5.0mm)。

2014年9月肘部分右尺側皮静脈の再度完全閉塞を認め0.014-Runthrough guide wire
にて容易に通過し、6mm-AngioSculpt PTA balloonにて再開通。

2015年4月10日右尺側皮静脈再々狭窄および前腕部シャント静脈狭窄を認め、最終
6mm-SABER balloon 16気圧にて拡張。

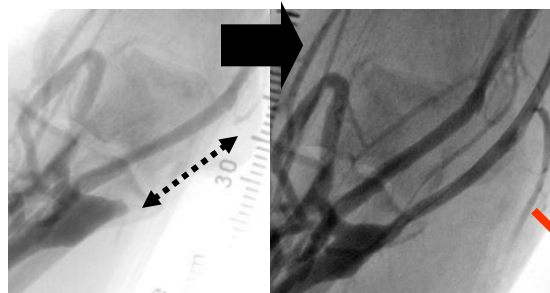
2015年6月再度返血圧の上昇にて近医でシャント造影。前腕部および肘部分で再狭窄を認め、
今回VAIVT予定となった。

FV=191 ml/min, RI=0.60

April. 2015

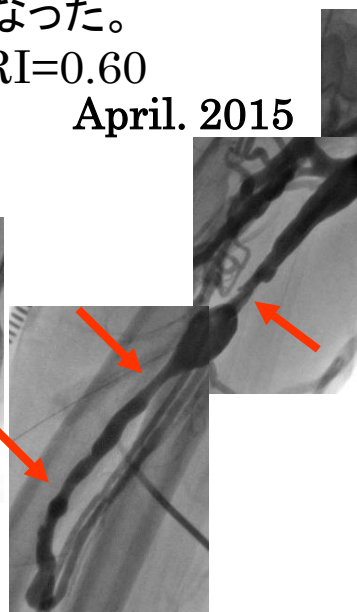
May. 2014

June. 2015

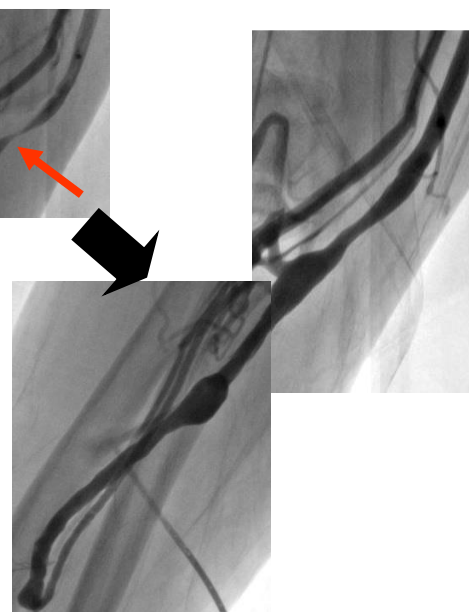


尺側皮静脈
慢性完全閉塞

再開通



拡張前



拡張後



Case 5: 50歳代、男性---慢性糸球体腎炎

Vascular access : 右前腕自己動静脈シャント

Symptom : 返血圧上昇

Target Lesion : 右上腕部撓側皮静脈および右鎖骨下静脈-腕頭静脈移行部再狭窄

History :

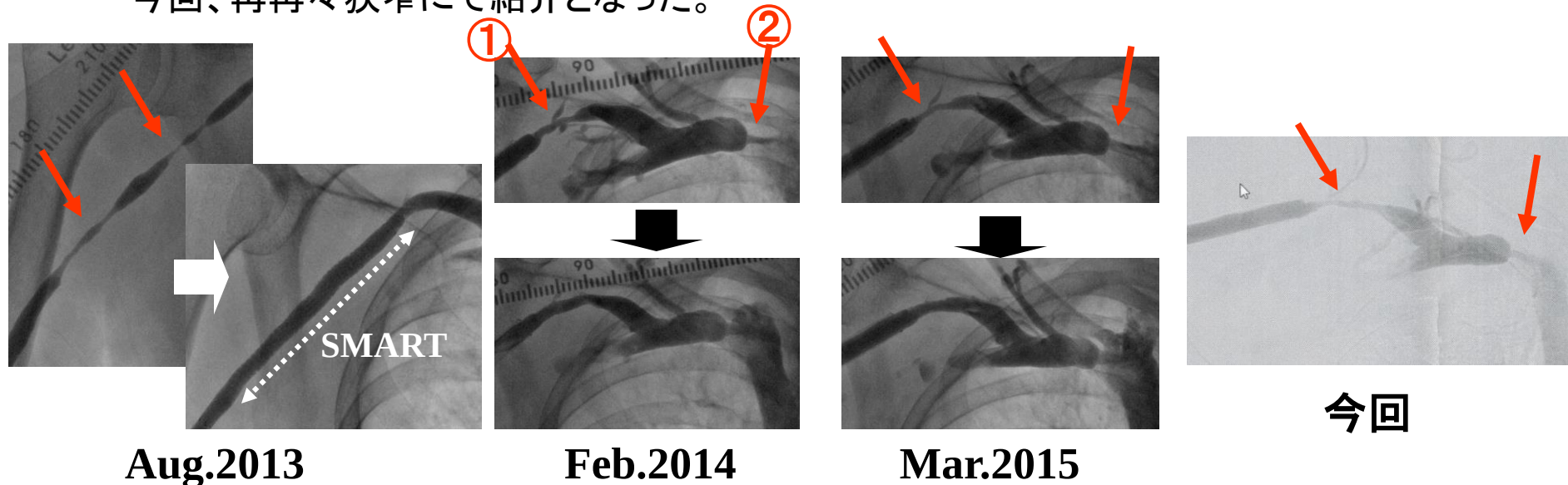
2005年右前腕部吻合部狭窄でballoon拡張行いも急性解離発生にてWall stent 留置。
2013年8月右上腕部撓側皮静脈の繰り返す再狭窄で紹介となり、6mm-balloon拡張後に
SMART stent留置。

2014年2月返血圧上昇。右上腕部撓側皮静脈SMART stent中枢側①および右鎖骨下静脈-
腕頭静脈移行部狭窄②にて紹介。①はNSE-balloon(6mm)、②は8mm-balloon拡張。

2015年3月11日①②の再々狭窄を認め、両病変を8mm-balloonにて拡張。10気圧拡張にて
①はindentation残存したが、拡張十分と判断し終了。FV=771 ml/min。

今回、再々々狭窄にて紹介となった。

Operator: Dr. Fujino
Angio-guide VAIVT



Case 6: 60歳代、女性---慢性糸球体腎炎

Vascular access : 右前腕自己動静脈シャント

Symptom : 脱血障害

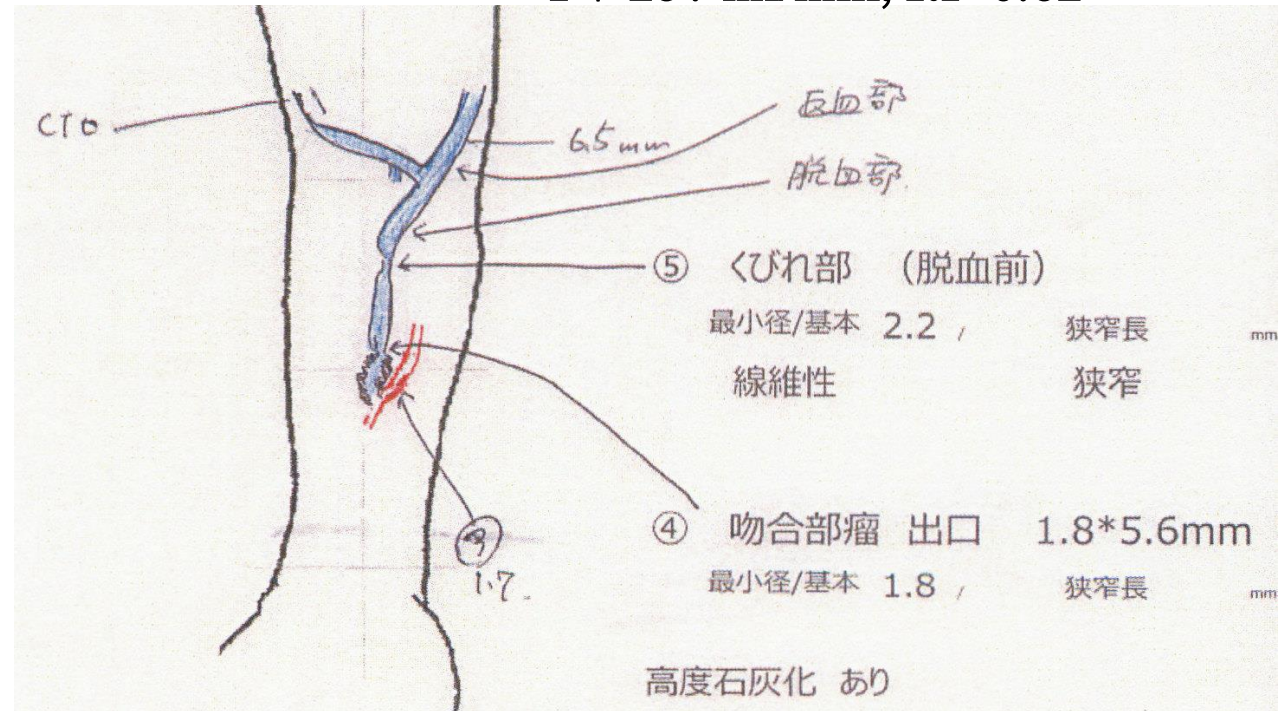
Target Lesion : 右前腕部吻合部狭窄および吻合部近傍弁性狭窄疑い。

History :

2015年6月24日シャント狭窄、脱血不良にてシャントエコー施行。上腕部撓側皮静脈は完全閉塞で、吻合部狭窄、吻合部近傍静脈の瘤状拡張、前腕部シャント狭窄を認めた。2015年6月29日シャント造影を施行した。

Operator: Dr. Wakabayashi
Echo-guide VALT

FV 297 ml/min, RI=0.62



Radial artery 2.6mm, 吻合部 1.7mm

Case 7: 70歳代、男性---慢性糸球体腎炎

Vascular access : 左前腕自己動静脈シャント

Symptom : 脱血不良

Target Lesion : 前腕シャント静脈の慢性完全閉塞

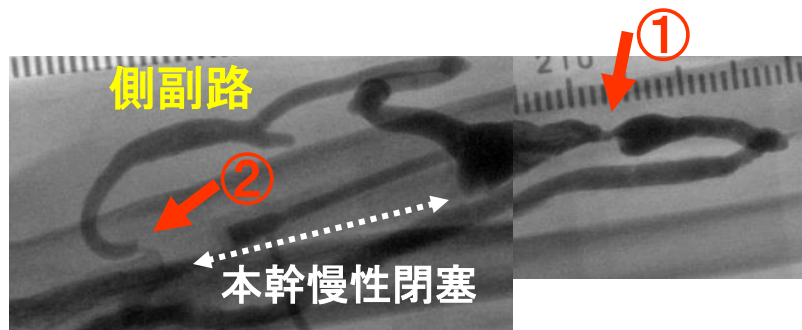
History : 狭心症および両下肢閉塞性動脈硬化症にてPCIおよびPTA.

Operator: Dr. Hirase
Angio-guide VAIVT

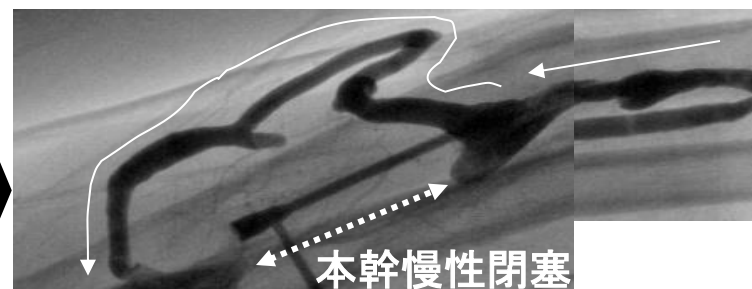
2015年3月11日脱血不良にて紹介。前腕シャント静脈の慢性完全閉塞で、吻合部近傍静脈高度狭窄①。側副血行にて中枢側静脈に還流するも、還流部位にて高度狭窄②を認め、VAIVT施行。①は5mm-balloon拡張し、②は3mm-balloon拡張。

その際に中枢側から慢性閉塞静脈VAIVT行い、Chievareie guide wire(30g)使用するも本幹への再疎通困難であった。FV: 271-300ml/min.

今回は前腕シャント静脈慢性完全閉塞への再チャレンジ。

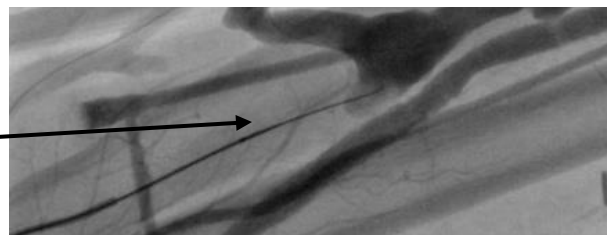


拡張前 → 狭窄部



拡張後

本幹にguide wire進行するも、途中で偽腔



Case 8: 70歳代、男性---慢性糸球体腎炎

Vascular access : 左前腕人工血管静脈シャント

Symptom : 返血圧上昇

Target Lesion : 左鎖骨下静脈ステント内再狭窄

History

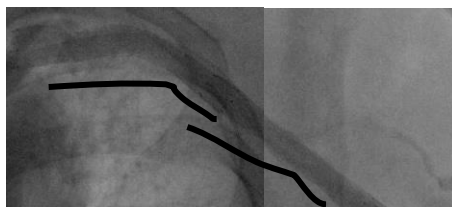
2014年11月 返血圧上昇で紹介。左撓側皮静脈閉塞で、左尺側皮静脈も上腕部で慢性完全閉塞。側副血行にて左鎖骨下静脈中樞側から造影される。両側性アプローチにてguide wire通過し、SMART stent(10x60, 8x40mm)にて再疎通。

2015年3月20日 左鎖骨下静脈ステント内再狭窄で、8mm-balloonにて拡張。

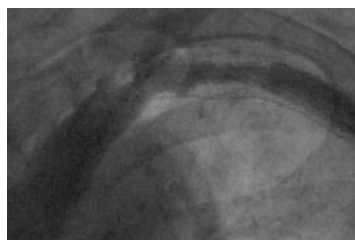
2015年5月29日 3ヶ月以内の再々狭窄で、4mm-balloonにて拡張(保険償還せず)。

今回、左鎖骨下静脈ステント内再狭窄のVAIVT。FV=1080ml/min, RI=0.41.

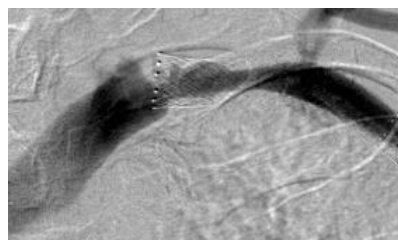
Operator: Dr. Horita
Angio-guide VAIVT



2014年11月



2015年3月



2015年5月



左シャント肢の高度腫脹

Case 9: 70歳代、女性---腎硬化症

Vascular access : 左前腕自己血管シャント

Symptom : 脱血障害

Target Lesion : 吻合部近傍狭窄および前腕部シャント慢性完全閉塞

History

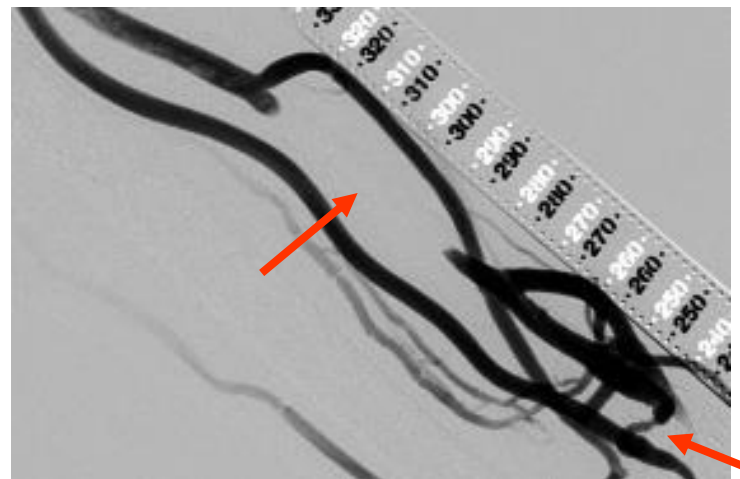
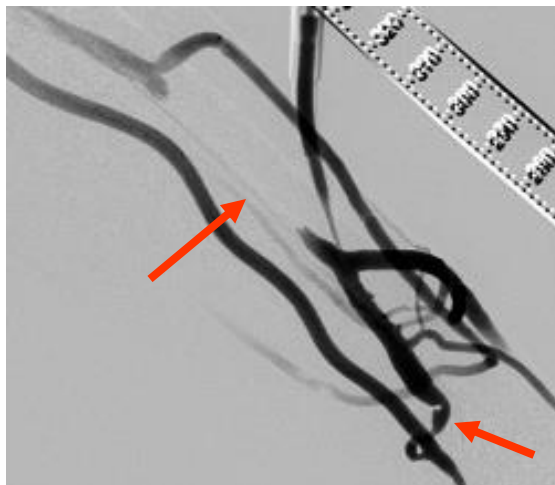
2014年8月左前腕内シャント作成。

2015年4月透析導入。

2015年6月24日脱血不良にてシャントエコー施行。脱血部直上の前腕部シャント慢性完全閉塞(血栓性?)を認めた。シャント造影にて、吻合部近傍狭窄および前腕部シャント完全閉塞を確認。側副血行の発達を認めており、透析は可能な状況である。

今回、吻合部近傍狭窄および前腕部シャント慢性完全閉塞のVAIVT。

Operator: Dr. Wakabayashi
Echo-guide VAIVT



Case 10: 80歳代、男性---腎硬化症

Vascular access : 右前腕自己血管シャント

Symptom : 脱血障害

Target Lesion : 吻合部近傍および前腕部シャント狭窄

History

2012年4月に腎硬化症から透析導入。

2013年1月左前腕部シャント静脈狭窄にて、5mm-balloonにてVAIVT。

2013年5月Kanazawa-VALID 2013にて左前腕中央部狭窄のVAIVT。

2014年繰り返す再狭窄で、対側肢にシャント再建。

2015年3月19日脱血不良にてシャントエコー施行。尺側皮静脈は肘部分で完全閉塞。

吻合部近傍シャント静脈および静脈分岐部で高度狭窄を認めた。

2015年6月29日 シャント造影施行。吻合部からの長いシャント静脈高度狭窄および静脈分岐部での狭窄を確認した。今回このシャント静脈狭窄のVAIVT。

